

♪ 曲目のご案内

世田谷フィル初登場の時任康文さんの指揮で、まずドイツ・ロマン派オペラの記念碑的作品、ウェーバーの「魔弾の射手」の序曲をお聴きいただきます。次は、ウェーバーのいとこにあたるコンスタンツェの夫、モーツァルトの23歳のときの傑作、ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲。豊かなオーケストラの響きと、二つの楽器の寄り添うような対話が聴きものです。ソロは世田谷フィ

ルのコンサートマスター佐藤慶子さんとヴィオラの名手、店村真積さん。そして最後は、ブラームスがベートーヴェンの重圧に悩んだ末、20年以上をかけて完成した交響曲第1番です。重苦しい第1楽章の冒頭から、歓喜に満ちた第4楽章への道程をお楽しみください。

♪ 時任 康文(ときとう やすふみ) 指揮

武蔵野音楽大学器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に学ぶ。指揮を紙谷一衛、汐澤安彦両氏に師事。また小澤征爾氏、秋山和慶氏、若杉弘氏等のアシスタントを務めた。1990年にカールマンのオペレッタ「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。その後、オペラの主な作品を指揮する。オーケストラへの客演も多く、東京交響楽団、東京フィルハーモニー等を指揮し好評を博す。1996年、ネッロ・サンティ氏のアシスタントとして、チューリッヒ歌

劇場、メトロポリタン歌劇場等で研鑽を積んだ。帰国後、ウズベキスタンなどで故園伊玖磨氏の遺志を継いでオペラ「夕鶴」を指揮。また数々の日本初演の指揮を担当した。藤原歌劇団にてヴォルフ・フェラーリのオペラ「イル・カンビエツロ」、ドニゼッティのオペラ「劇場のわがままな歌手たち」を指揮し、2025年2月にはヴェルディ「ファルスタッフ」を指揮する。昭和音楽大学教授、武蔵野音楽大学講師。

♪ 佐藤 慶子(さとう けいこ) ヴァイオリン

京都生まれ。4歳よりヴァイオリンを増田勇三氏に師事。京都府立堀川高校音楽課程在学中、毎日コンクール高校の部西日本1位。東京藝術大学在学中、読売新人演奏会、東京文化会館推薦音楽会に出演。卒業後ウィーン国立アカデミー(現国立音楽大学)に入学。在学中アイゼンシュタットのハイドンクアルテットコンクールに入賞、ソロでウィーン音楽週間に出演。アカデミーを「審査員全員一致最優秀賞」をもって卒業。ヴァイオリンをリカルド・オドノボゾフ、

室内楽をアルフレッド・シュタール各氏に師事。帰国後東京ゾリステン、東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを兼任。1982年新星日本交響楽団のコンサートマスターに就任し、16年間務め、その間多数のコンチェルトを共演。弦楽四重奏団としての活動も2007年から「カルテットに親しむ会」を開催、65回を超える。

♪ 店村 真積(たなむら まづみ) ヴィオラ

京都生まれ。6歳よりヴァイオリンを始め、東儀祐二、鷺見三郎、江藤俊哉の諸氏に師事。全日本学生コンクール、日本音楽コンクールなどで多数受賞。桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、P.ファルツリに師事。その後指揮者R.ムーティに認められ、フィレンツェ市立歌劇場首席ヴィオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクールヴィオラ部門第2位入賞。帰国後は、読売日本交響楽団ソロ・ヴィオリスト、NHK交響楽団ソロ首席ヴィオ

ラ奏者、東京都交響楽団特任首席ヴィオラ奏者を歴任、京都市交響楽団のソロ首席ヴィオラ奏者も担う。一方ソリストとして読響、N響、東京フィル、札響などと共演。小澤征爾の信頼も厚くサイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団のメンバーでもある。日本を代表するヴィオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活躍を展開し、CD録音も多数。現在東京音楽大学客員教授。東京都交響楽団名誉首席ヴィオラ奏者。

♪ 世田谷フィルハーモニー管弦楽団

世田谷フィルハーモニー管弦楽団は、作曲家、故芥川也寸志氏の「世田谷区民によるアマチュアオーケストラを」という呼びかけにこたえて、1989年3月、さまざまな職業の音楽愛好家によって結成された。世田谷区の厚い支援を受け、同年12月に「せたがや区民による第九コンサート」で初演奏を披露。その後は、毎年2回の定期演奏会を開催するほか、世田谷区民合唱団とともに「せたがや名曲コンサート」にも出演。また、ヴェルディ「椿姫」やブッチェニ「ラ・ボエーム」、チャイコフスキー「くるみ割り人形」など、オペ

ラやバレエにも挑んでいる。近年採り上げた主な曲目は以下の通り。プロコフィエフ「バレエ音楽《ロメオとジュリエット》」、マーラー「交響曲第9番」、ブラームス「交響曲第2番」、チャイコフスキー「交響曲第5番」、サン＝サーンス「交響曲第3番《オルガン付き》」、モーツァルト「交響曲第41番《ジュピター》」、ドヴォルザーク「交響曲第8番」、バルトーク「管弦楽のための協奏曲」、ブラームス「ヴァイオリン協奏曲」、モーツァルト「レクイエム」、武満徹「弦楽のためのレクイエム」など。

これからの演奏会

■ せたがや名曲コンサート

2025年2月23日(日) 午後2時開演
昭和女子大学人見記念講堂

フォーレ レクイエム

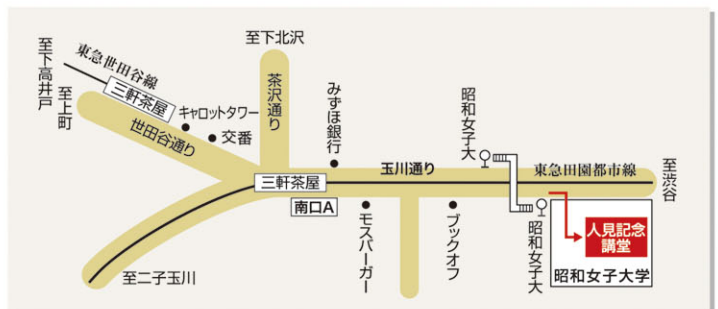
ベートーヴェン 序曲「レオノーレ」第3番

ベートーヴェン 交響曲第5番 短調

指揮 佐藤 宏充

合唱 世田谷区民合唱団

(受付では、出演者への花束や贈り物はお預かりできません。直接お渡しくださるようお願いします。)



交通のご案内

- 東急田園都市線 三軒茶屋駅 南口A出口 徒歩8分
- 東急世田谷線 三軒茶屋駅 徒歩10分
- 東急バス/小田急バス 昭和女子大 徒歩1分

人見記念講堂の駐車場は、お身体のご不自由な方以外はご利用いただけません。ご了承ください。